

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12020010

政策目標	3	のひやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	12	学校教育の充実	事業優先度	A		
単位施策	3	開かれた学校づくりの推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	学校支援活動推進事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	12 教育委員会教育振興課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	コーディネーターの配置、学校支援ボランティアの養成及び活動支援		ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業		
事業目標	コーディネーターの1名配置、学校支援活動、読書支援活動、部活支援活動実施		関係例規・法令名	無		
住民参加 住民協働	有		関係個別計画名	無		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	コーディネーターの配置 各種支援活動事業の実施	学校支援活動推進事業経費 報償費 500千円 旅費 50千円 需要費 50千円 役務費 83千円	学校支援活動推進事業経費 報償費 500千円 旅費 50千円 需要費 50千円 役務費 83千円	学校支援活動推進事業経費 報償費 500千円 旅費 50千円 需要費 50千円 役務費 83千円	学校支援活動推進事業経費 報償費 500千円 旅費 50千円 需要費 50千円 役務費 83千円	学校支援活動推進事業経費 報償費 500千円 旅費 50千円 需要費 50千円 役務費 83千円	
	事業費(千円)	3,415	683	683	683	683	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	3,415	683	683	683	683		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	477	162	163	152	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	477	162	163	152	0		
関 連 事 項	特定財源の名称						
	【評価・実績】	(実施内容等) 読書活動支援3校 学習支援6種類	(実施内容等) 読書活動支援3校 学習支援6種類	(実施内容等) 読書活動支援3校 学習支援6種類	(実施内容等)	(実施内容等)	
		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	コーディネーターの配置(1名)、支援活動	コーディネーターの配置(1名)、支援活動	コーディネーターの配置(1名)、支援活動	コーディネーターの配置(1名)、支援活動	コーディネーターの配置(1名)、支援活動
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	24%	24%	22%	0%	0%
	全体達成率	5%	10%	14%	14%	14%	
	備考欄						

事業名	学校支援活動推進事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	澤田 朋 朗
		評価者 作成者 職氏名	生涯教育係主査	櫻井 輝 久

様式1
平成27年度実施
平成28年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町内小中学校	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	全学校の開設	
【抱える課題やニーズは】	学校が望んでいる講師の発掘・派遣及びコーディネーターの配置	指標(指標計算式/解説)	指標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	地域全体で学校教育を支援する体制づくを目指す。	① 小学校5校・中学校1校	目標年度 目標値	平成27年度 6校
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	地域の教育力を活用し、児童・生徒の学習支援を行うことで効果的な教育活動が維持される。	②	実績値	5校
			達成度	83.3%
			目標年度	平成27年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	読書支援	雄武小学校、沢木小学校、共栄小学校		
	学習支援	学習支援、体育授業の補助(雄武小学校・沢木小学校・豊丘小学校・共栄小学校・雄武中学校)		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	児童・生徒を見守り育てる体制づくりを構築するため、地域の教育力を活用した、多様な教育活動が必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	学校の要望に対し、専門的指導者等を派遣することができ、教育活動の充実が図られた。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	当該事業はボランティアを活用して実施しているとともに、学校備品等を有効に活用している。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	各学校からの支援要望に応じボランティアを派遣しており、児童・生徒の学習力向上に寄与することから、町民の理解が得られるものと判断する。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B		
関係機関との連携により、様々な活動にボランティアが多く関わり、学校教育の充実が図られた。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
地域が学校を支援することにより、児童生徒の教育に資するだけではなく、地域のコミュニケーション力の向上に効果が期待できる。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止